



3月6日に開会した第3回市議会定例会の初日、清澤市長は平成25年度の市政執行方針演説において、市政運営の基本方針と重点的な取り組みについて説明し、「まちの活性化」と「ぬくもりのある生活」、さらには「芦別の未来」を市民の皆さんに感じていただけるまちづくりを推進するため、市民の皆さんと市議会議員の皆さんに理解と協力を求めました。

今月は、市政執行方針で示された主な取り組みや新年度予算の概要についてお知らせします。

平成25年度市政執行方針と予算

「人と経済」をキーワードに、強く・豊かな芦別を目指す

市政執行方針（抜粋）

私が市長に就任してから、間もなく2年が経過し、今年の5月には任期も折り返しを迎えようとしています。これまでの間、私は「人と経済」をキーワードに、それに沿った政策をご提案申し上げ、市議会のご理解をいただきながら、市民の皆さんの生活向上と、市内経済の活性化を目指し、芦別の「まちづくり」を推進してきました。

しかし一方で、山積し湧きあがる行政運営上の諸課題の解決を図りながら、「まちづくり」を進めることの難しさを今あらためて認識するとともに、本市における少子高齢化の進展と、人口減少、経済の低迷など、依然その厳しさが変わらないことを実感しているところでもあります。

このように、現在本市を含め地方自治体が置かれている環境を考えると、私は今まで積極的に政策展開を図ってきた姿勢は継続しながらも、今一度足元を見つめ、この2年間の市政運営を振り返り、芦別の将来を見据えた施策を吟味することも大切なことではないかと考えています。

したがって、本年度の市政運営は、検証と展望と取捨選択の1年として位置付けをさせていただき、一方で必要な政策は積極的に進めながらも、スクラップ・アンド・ビルドの勇氣を持って、ふるさと芦別の将来を見出すための施策構築に主眼を置く年にならうと考えています。

さらに、これまでの2年間、市議会の皆さんのご理解によりトップセールスを存分に実施することができました。それを市政運営に活かし、あらゆる情報を収集し、市民の皆さんとの情報共有を行いながら、「強く・豊かな芦別」を作り上げたいと考えています。

本年度も「まちの活性化」と「ぬくもりのある生活」さらには「芦別の未来」を市民の皆さんに感じていただけるよう、着実にまちづくりを推進してまいります。

芦別市長 清澤 茂 宏

1 持続可能な行財政基盤を確立するまちづくりの推進

広域連携の推進

消防の広域化、し尿の共同処理事業への参画、戸籍電算システムの共同運用の取り組みなど、近隣市町との連携を推進することにより、効率的な行政運営を目指します。

また、中空知5市5町による定住自立圏の形成に向けて、研究を進めます。

行財政改革の推進

健全で効率的な行政運営と自立した自治体経営の確立を目指し、『行財政改革推進計画』に基づき、事務事業や公共施設のあり方を見直すなど、行財政改革を推進します。

市民協働のまちづくりの推進

地方分権の時代を迎えていることから、市民の皆さんとの対話を重視し、私たちのまち芦別のごことは、市民の皆さんと共に考え、共に行動する協働のまちづくりを推進します。

また、多くの市民の皆さんが意見を出し合いながら、まちづくりに参加できる環境整備に努めます。



2 市内経済の活性化を目指すまちづくりの推進

地場企業の振興と雇用対策の推進

企業振興事業補助金の拡充や新規の雇用奨励金制度などにより、地場企業の振興と雇用の確保を図ります。

各種スポーツの公式大会等の開催

市制施行60周年記念事業の一環として、フットサルやバスケットボールなどの公式大会を開催します。

木質バイオマスの取り組みの推進

本市の豊富な森林資源を活用して、スターライトホテルなどの健民センター施設群に木質チップボイラーを導入します。この新エネルギーの有効利用の取り組みにより、林業の振興と経済循環による地域活性化を目指します。



道の駅を拠点とした「にぎわい」創出プロジェクトの推進

本市に人を呼び込み、交流人口の拡大による地域の活性化を図るため、昨年策定した道の駅を拠点とする「にぎわい」創出プロジェクトのグランドデザインをたたき台として、市民の皆さんや市議会の意見を踏まえ、さらに関係機関・団体等と協議しながら、慎重に検討します。



農商工連携の推進

良質な農林産物を活用した農商工連携の取り組みを支援します。

3 市民の暮らしを守る防災重視のまちづくりの推進

消防庁舎建設事業の推進

災害発生時に市民の生命・身体・財産を守り、防災活動拠点施設として消防・防災機能の充実を図るため、老朽化した消防庁舎の移転新築に向けて慎重に検討します。



公共施設の耐震化の推進

総合福祉センター及び生きがいデイサービスセンターの耐震化工事を実施します。また、他の公共施設についても、年次計画で耐震化を進めます。

防災対策の強化

災害発生時の実効性ある防災体制を構築するため、なまこ山総合運動公園を避難拠点とし、自衛隊の協力をいただきながら全市を網羅した実践的で大規模な総合防災訓練を実施します。

4 子どもからお年寄りまで、ぬくもりのある暮らしを支えるまちづくりの推進

高齢者福祉の推進

門口除雪サービスや緊急通報装置設置事業などにより、高齢者の安心な在宅生活を支援します。

生活交通路線の確保

市民の快適な日常生活を維持するため、生活交通路線をどのように維持し、また、どのような交通手段が必要なのかを検討し、本市にふさわしい持続可能な交通体系の整備に努めます。

市立芦別病院の経営維持・健全化

地域医療の拠点として、市立芦別病院の経営の健全化に努めるとともに、医師及び看護師の確保対策を進めます。また、親しみやすい病院としてサービスの向上を図るほか、医療費のクレジットカード支払いを導入します。



芦別高校の生徒の確保対策

芦別高校の生徒に対して通学費や検定試験等の受験料を助成し、魅力ある高校づくりを応援するとともに、生徒の確保対策を推進します。

今回掲載した取り組みは、市政執行方針で示された中の一部です。市政執行方針全文をご覧になりたい方は、まちづくり推進係で配布いたしますので、お問い合わせください。また、市役所1階「市民参加と協働のコーナー」、総合福祉センター、青年センター、図書館、各コミュニティセンターにも配置しているほか、市公式ホームページでもご覧になれます。●問い合わせ/まちづくり推進係